キッチンタイマー機能仕様書

0．1版

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 承認 | 作成 |
|  |  | 板野　湧斗 |

[1. 概要 1](#_Toc107818973)

[2. 目的 1](#_Toc107818974)

[3. 前提条件 1](#_Toc107818975)

[4. 機能説明 1](#_Toc107818976)

[4.1. 機能構成 1](#_Toc107818977)

[4.2. タイマー設定機能 1](#_Toc107818978)

[4.2.1. 機能詳細 1](#_Toc107818979)

[4.2.2. シーケンス 1](#_Toc107818980)

[4.3. B機能 1](#_Toc107818981)

[4.3.1. 機能詳細 1](#_Toc107818982)

[4.3.2. シーケンス 2](#_Toc107818983)

# 概要

本書全体の説明を記載する。このセクションを読めば全体がわかりようにする。

# 目的

開発する機能の目的を記載する

# 前提条件

前提条件があれば箇条書きで記載する。

ユーザの制限事項も必要であれば記載する。

# 機能説明

キッチンタイマーが有する機能について下記に概要を記載する。

* タイマー設定
  + ユーザが任意の時刻（時分）を指定することが可能
  + ユーザがJST/UTCの選択をすることが可能
  + 指定時刻経過時にユーザに対し通知を行う
* タイマー解除
  + ユーザが設定中のタイマーを解除することが可能

## 機能構成

　機能構成図を記載する

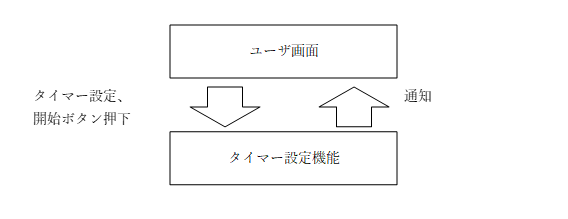
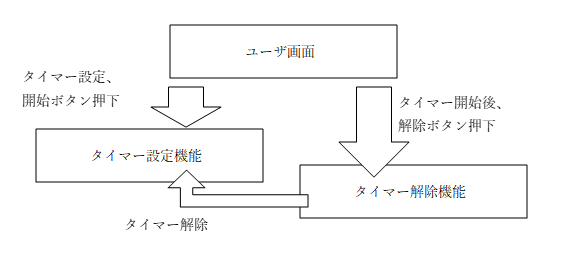


図 41　機能構成図（タイマー設定時間経過）



42　機能構成図（タイマー解除）

## タイマーアプリ画面

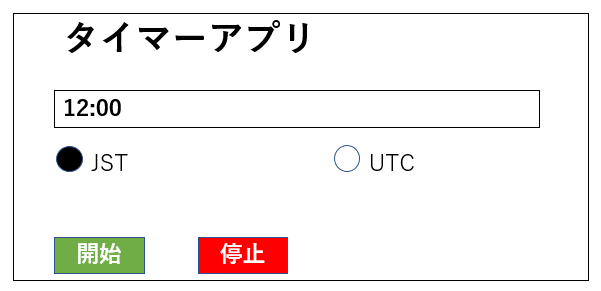


図4-? タイマーアプリ画面レイアウト

表4-1 タイマーアプリ画面構成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | コンポーネント | 概要 |
| アプリタイトル | ラベル | アプリのタイトルを表示する。  「タイマーアプリ」 |
| 時間設定フォーム | 入力フォーム（時間） | タイマーを鳴らす時間を指定する。  「HH:MM」形式の設定とし、初期値は「12:00」 |
| タイムゾーン設定 | ラジオボタン | タイムゾーンを選択する。 選択肢は「JST(デフォルト)」、「UTC」 |
| 開始ボタン | ボタン | タイマーをスタートする。 |
| 停止ボタン | ボタン | タイマーを停止する。 |

## タイマー設定機能

タイマー設定機能は、設定した時間に通知を行う機能である。

タイマー設定機能では、時刻の設定とJST/UTCの設定によって時間を設定する。

タイマー設定機能の実行には、専用の画面を用いる。

次項に機能の詳細を示す。

### 機能詳細

タイマー設定機能の説明を以下に示す。

タイマー設定機能は画面レイアウト内の「開始ボタン」の押下により実行される。

実行後、以下の情報をもとに時刻が算出される。

　・画面レイアウト内の「時間設定フォーム」の入力値

　・画面レイアウト内の「タイムゾーン設定」の入力値

　・NTPサーバの現在時刻

タイマー設定機能は算出した時刻まで実行され続け、算出した時刻に到達次第、画面上に通知を出して処理を終了する。

タイマー設定機能の実行中に新たにタイマー設定機能が開始された場合、

実行中のタイマー設定機能を停止し、新たに開始されたタイマー設定機能を実行する。

### シーケンス

　タイマー設定機能のシーケンス図4-1を図に示す。

タイマーアプリ画面

タイマー設定機能

設定時刻を算出

設定時刻まで待機

NTPサーバ

現在時刻を確認

実行中のタイマー設定が存在する場合

通知を行う

実行中のタイマー設定を

停止

タイマー設定開始

入力値を確認

図4-1 タイマー設定機能のシーケンス

## B機能

### 機能詳細

### シーケンス

1. 参考資料

RFCの簡単な説明と引用先があれば記載すること